

いきがい部会

各部会「多彩な交流活動の拡大」の特集は、いきがい部会（会長：八嶋日出子・国21）の8グループです。

以下、グループ代表の皆さんからのコメントです。

（編集・八木）

いきがい部会の組織と活動

8グループが連携して活動推進

- 1) すみれ（フォークダンス）：会員37名で構成
活動内容：ボランティア活動定期的実施
- 2) 木エグループ：会員73名で構成
活動内容：工作教室等のボランティア活動
- 3) Wingペタンククラブ：会員39名で構成
活動内容：ペタンクを通じて健康づくりに貢献
- 4) 有馬観光ガイドボランティア：会員19名で構成
活動内容：有馬観光総合案内所前でのガイド
- 5) Wingローンボウルズクラブ：会員24名で構成
活動内容：健康増進のためオープン大会開催
- 6) うたごえサークル：会員28名で構成
活動内容：絆・健康保持など毎日をエンジョイ
- 7) 東灘ボランティアガイドの会：会員22名で構成
活動内容：観光客のボランティアガイド等
- 8) 太極拳ゆったり体操：会員18名で構成
活動内容：高齢者福祉施設等への訪問活動

1) すみれ（フォークダンス）の取組と課題

代表：箕浦 厚

KSCフォークダンスグループは会員数51名で、いきがい部会では、すみれ（フォークダンス）の名で活動しています。設立は、平成6年で同部会の中では一番古く今年で25周年を迎えました。

毎週金曜日朝9時半からたんぼぼの家にて楽しく踊り、ボランティア活動も定期的に行っています。25周年にあたり『より多くの方に、フォークダンスを楽しんでいただく！！』をモットーに、4月には「しあわせの村



開村30周年イベント」に特別参加し、屋外特設ステージ

で観客の皆様と手を取り合って楽しく、賑やかに、踊ったのを皮切りに5月中旬のわ総会後の交歓会に初出演、続いて5月下旬の健福・生環の新入生歓迎会でのパフォーマンス披露、6月は恒例のジョイラックデイでのステージ出演とダンスの輪を広げる取組が続いています。

『体にやさしいフォークダンスを！』 皆さんも一緒に踊ってみませんか！

3) Wingペタンククラブ

代表：丸草佑次

ペタンクの魅力は、10歳の小学生から80歳の高齢者までがハンディキャップ無しにゲームを楽しめる点です。

又本当の初心者でも700グラムの鉄のボールを10メートル転がすことができれば、1時間ほど手ほどきを受ければすぐにゲームに参加できます。

ゲームのためのコートは広さも、幅5m、長さ15mあれば1ゲーム出来る正規のコートになります。

このようにペタンクは「誰でも、どこでもできる」という気軽さがあり、生涯スポーツとして取り組める一方、高度な技術や戦略を学び、競技スポーツとしても取り組むことが出来る、これからの時代のニーズに応える最適のスポーツであると考えます。

毎月の第2、第4木曜日にしあわせの村球技場にて9時30分から12時まで定例練習を行っていますので興味のある方は参加ください。



ボールは当方で準備します。

2) 木エグループ

代表：木原 喬

木エグループは平成7年に、阪神淡路大震災の復興支援を契機に設立されました。以後成長を続けて現在の会員は73名です。

主な活動内容は、わいわいストリート・夏休み工作塾・わフェスティバルイン水の科学博物館での子供木工教室を通じて、木材に対する親しみや木工作品作りの楽しさを広める活動や、他のグループ・団体からの依頼に応じて木工製品を制作すること、またジョイラックデイ・学園祭・こうべロハスひろばへの手作り木工作品の出展などです。



木工室で、在校生の「KSCボランティア木エグループ」と緊密に連携して、木工製品やイベント部材の作成に

取り組んでいます。新たなグループ会員への技能伝承や安全教育にも努めています。